

施策評価表

施策番号	261110
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します		
基本施策	1 地域社会		
個別施策	1 地域住民組織の活性化と地域活動の支援		
担当部・課	市民生活部 市民生活課	評価者	課長 久保 千鶴

1 施策が必要な背景及び現況

町内会活動に対する、地域住民の意識が薄れ、町内会への加入率が低下するとともに町内会役員の高齢化や担い手不足などの問題が顕在化しています。
 しかし、明るく住みよい地域社会を実現するうえで、町内会活動は重要な役割を果たすことから、町内会活動の活性化に向けた支援が必要になっています。

2 施策の目標

多様化する市民ニーズに対応した地域活動が展開できる施設の整備を図るとともに、地域の特性を生かした明るく住みよい地域社会を築きます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	町内会など地域住民組織
手段・方法 (どのような方法で)	地域住民組織が抱える課題を共有するとともに活動助成金等による助成
施策の意図 (どのような状態に)	明るく住みよい地域社会を形成

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	町内会の活性化に繋がる地域活動を支援するために、活動助成金をはじめとした各種助成金の交付を行ったことや、町内会への加入促進を図るために、主に転入者向けに市庁舎内に加入促進ブースを設置するなど、継続的に啓発活動を行ったことは、地域住民組織の活性化と地域活動の支援を進める上で重要な取組であり、施策の成果は高く、費用に見合った効果を得ることができ、施策を計画どおりに進めることができたと考えております。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	運営方針	01	地域活動の促進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	第6次基本計画においては、地域住民の町内会活動に対する意識を高めるために、町内会の加入や活動参加への啓発活動を推進し、地域活動の促進に取り組むこととし、個々の町内会の特徴をいかした活動内容について情報提供を行うほか、町内会活動の活性化を図るための地域活動に対する支援を行い、明るく住みよい地域社会の構築について進めていきます。 また、町内会に対する人的及び財政的支援を含めた今後の支援のあり方について、単位町内会や町内会連合会と課題を共有し、連携を深めながら、継続的に検討していく必要があります。				

施策評価表

施策番号	261120
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します			
基本施策	1 地域社会			
個別施策	2 施設整備			
担当部・課	市民生活部	市民生活課	評価者	課長 久保 千鶴

1 施策が必要な背景及び現況

町内会活動が今日の社会情勢の影響から、活動などに対する意識が薄れ、町内会への加入率が低下するとともに、総合福祉会館などの維持管理や運営などの問題が顕在化しています。
 しかし、明るく住みよい地域社会を実現するうえで、町内会活動は重要な役割を果たすことから、町内会活動の活性化に向け活動拠点となる、総合福祉会館等の整備支援が必要になっています。

2 施策の目標

多様化する市民ニーズに対応した地域活動が展開できる施設の整備を図るとともに、地域の特性を生かした明るく住みよい地域社会を築きます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	総合福祉会館等
手段・方法 (どのような方法で)	新築・改修にかかる費用に対する助成
施策の意図 (どのような状態に)	総合福祉会館などの新築や改修を支援することにより、地域活動の拠点を整備し、施設機能の充実を図ります。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成29年度については、地域住民組織の活動拠点となる、総合福祉会館等の改修3件について助成を行っており、本年度を含む後期5年間においても、新築2件、改修18件について助成を行っております。 このことから、地域活動の拠点となる総合福祉会館等の施設機能の充実が図られたことにより、施策の成果は高く、費用に見合った効果は得ることができ、施策は計画通り進めることができたと考えております。</p>				

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	運営方針	01	地域活動の促進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画においては、町内会など地域住民組織活動の拠点となる総合福祉会館等の施設整備に対する支援を行うとともに、市民のふれあいや交流の場となるコミュニティセンター等の施設整備に対する支援を行うことが必要です。 また、多くの総合福祉会館等の施設については、老朽化に伴う経年劣化が著しいことから、設備の更新や施設の改修が必要な時期にきており、今後の支援の在り方や見直しなどについても、継続的に検討していくことが必要です。</p>				

施策評価表

施策番号	261210
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します		
基本施策	2 高齢社会		
個別施策	1 地域における支えあいの仕組みづくり		
担当部・課	福祉部 介護福祉課	評価者	課長 相木 健一

1 施策が必要な背景及び現況

高齢化率が上昇し、安心と生きがい、健康を享受できる高齢社会の構築が課題であり、住み慣れた地域で生き生きとした生活ができるよう、総合的な施策を展開し、地域で支えあう地域社会づくりを目指す必要があります。

2 施策の目標

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていける住みよい地域づくりを進め、尊厳をもって自立した生活ができるよう、健康で生き生きと安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	第1号被保険者(65歳以上の市民)
手段・方法 (どのような方法で)	地域包括支援センターの運営
施策の意図 (どのような状態に)	包括的・継続的なケアが提供され、高齢者を地域全体で支えるネットワークの構築

4 第5次基本計画(後期5年)の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A(100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B(80~99%)	<input type="checkbox"/> C(60~79%)	<input type="checkbox"/> D(40~59%)	<input type="checkbox"/> E(39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	介護予防に関するマネジメントや権利擁護、認知症施策の推進等総合的な支援を適宜関係機関と連携しながら行っています。地域ケア会議等を活用した地域づくりの更なる展開が今後の課題です。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	04	高齢者福祉の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	地域包括支援センター運営運営方針に沿った円滑な取組みのための情報共有や検討を行います。具体的には、虐待の早期発見・防止に係る関係者連携強化や地域ケア会議の推進における地域課題の整理と施策反映につなげるためのしくみづくりを検討し展開していきます。				

施策評価表

施策番号	261220
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します		
基本施策	2 高齢社会		
個別施策	2 安心して暮らせる生活環境づくり		
担当部・課	福祉部 介護福祉課	評価者	課長 相木 健一

1 施策が必要な背景及び現況

高齢者が住み慣れた地域社会の中で、健康で安心できる生活を送るため、住宅対策は重要な課題の一つです。在宅福祉を推進するため、介護保険サービスの提供基盤の充実を図ります。

2 施策の目標

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていける住みよい地域づくりを進め、尊厳をもって自立した生活ができるよう健康で生き生きと安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	要介護認定を受けている介護保険被保険者
手段・方法 (どのような方法で)	居宅介護（予防）住宅改修の実績把握
施策の意図 (どのような状態に)	高齢者が居宅での安心できる暮らしを支える

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	利用者ニーズが高まっていること等から、第6期介護保険事業計画で設定した計画値と比較し、概ね計画どおりに利用者数が推移しております。要介護者、要支援者の在宅生活での安全確保や自立に向けて成果を上げていると考えます。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	04	高齢者福祉の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	今後も事業が適正に行われるよう、給付適正化事業における実施内容の精査や様々な機会を利用した制度の周知に努めます。				

施策評価表

施策番号 261230

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します			
基本施策	2 高齢社会			
個別施策	3 生き生きとした高齢社会の実現			
担当部・課	福祉部 総合福祉課	評価者	課長 大橋 透	

1 施策が必要な背景及び現況

少子高齢化が進展する中で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増え、地域のとりまく環境は大きく変化しています。価値観の多様化とともに、地域のつながりや近所づきあいの希薄化などがみられるようになりました。高齢者が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で生き生きとした日常生活を送ることができる社会の構築が大きな課題となっています。

そのため、高齢者の保健・福祉・健康・生きがい対策において、高齢社会に対する総合的な施策の展開を図り、すべての市民が地域で支えあう地域社会づくりを目指す必要があります。

2 施策の目標

高齢者が住みなれた地域で、安心して暮らしていける住みよい地域づくりを推進するため、地域社会の担い手としての活動などを支援し、また地域で支え合うネットワークづくりを進めていきます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	高齢者
手段・方法 (どのような方法で)	町内会等が行う高齢者支援事業への助成や老人クラブの運営に対し補助金の交付により、スポーツ、文化活動、ボランティア活動など積極的な参加を促します。また、高齢者見守り活動やあんしん生活サポート事業など地域住民相互の支えあいを促進します。
施策の意図 (どのような状態に)	地域住民相互の支え合いの仕組みづくりや、社会との関わりを持ちながら生き生きとした生活を送ることができるよう支援します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>高齢者見守り活動事業において、登録事業者の継続・拡充を図ったほか、あんしん生活サポート事業では、町内会やケアマネージャー、民生委員などが集まり、地域の課題の洗い出しや解決方法を話し合い、全市的な取組みに繋がる結果となりました。</p> <p>また、市内で取り組まれている地域の福祉活動を紹介した「苫小牧市地域福祉活動事例集」を作成し、関係機関等に配布しました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	04	高齢者福祉の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域で活動する人たちのつながりを深めるため、あんしん生活サポート事業の支援や高齢者等見守り活動事業の登録事業者の拡充や登録事業所間の情報共有に努め、また老人クラブへの活動支援を継続していきます。</p>				

施策評価表

施策番号	261310
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します			
基本施策	3 男女平等参画社会			
個別施策	1 男女平等意識の啓発 / 2 女性の社会参画の促進 / 3 男女平等参画の環境の整備			
担当部・課	総合政策部 協働・男女平等参画室	評価者	室長 宮嶋 紀子	

1 施策が必要な背景及び現況

少子高齢化をはじめとする社会情勢や経済の変化に対応し、誰もが豊かで安心して生活できる社会を目指すためには、性別にかかわらず多様な生き方を認め合い、喜びも責任も分かち合い、あらゆる分野の活動に平等に参画することができ、その個性と能力を十分に発揮できる男女平等参画社会の形成が必要です。

2 施策の目標

男女平等参画社会の形成

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民、事業者
手段・方法 (どのような方法で)	本市が取り組む施策の基本的な考え方や方向性を示した苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）（以下「基本計画」という。）に基づく事業の実施
施策の意図 (どのような状態に)	男女平等参画社会の必要性について意識の浸透及び環境の整備

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>基本計画の各施策は苫小牧市男女平等参画審議会の意見を尊重し進めています。様々な課題を取り上げた男女平等参画講座の実施、リーフレット・広報誌・ホームページ・フェイスブック等を活用した啓発事業を積極的に進めた結果、計画どおり事業が実施されました。</p> <p>また、男女平等参画都市の宣言及び日本女性会議の開催を契機に、男女平等参画社会の実現に向けた、意識改革のさらなる発展も期待されます。</p> <p>男女平等参画社会の実現には、固定的な役割分担意識などさまざまな課題があり、短期間に達成できるものではないため、効率性は中としました。また、市民意識調査の結果から、男女平等参画都市宣言の認知度や社会全体での男女平等感について課題が残るため達成状況をBとしました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	運営方針	03	男女平等参画の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、北海道で初めてとなる「男女平等参画都市」を宣言し、日本女性会議を開催したことを契機に、今後も家庭・学校・職場・地域社会などのあらゆる場面において、誰もが自分らしく参画できるように市民、事業者などと連携協力し、男女平等参画社会の実現に向け、基本計画の取組を推進し、市民意識の把握や市民、事業者に対し情報の提供、広報、啓発活動を積極的に行います。</p>				

施策評価表

施策番号	261410
------	--------

政策目標	1 明るく住み良い地域社会を実現します			
基本施策	4 平和			
個別施策	1 平和思想の普及／2 世界恒久平和の実現			
担当部・課	総合政策部 政策推進課	評価者	課長 山田 学	

1 施策が必要な背景及び現況

核兵器のない平和の実現に向け、世界中で多くの自治体が非核宣言を行う中で、本市は平成14年に「苦小牧市非核平和都市条例」を制定しました。世界から核兵器の脅威が消えない今、人間らしく生活できる真の平和を求め、将来にわたり市民の命とくらしを守っていかねばなりません。

2 施策の目標

人に命を奪われる危険や不安のない平和な世界の実現にむけて、平和の尊さを考える機会を設け、意識の啓発を図るとともに、非核三原則の趣旨を尊重します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	一般市民、関係国、関係機関
手段・方法 (どのような方法で)	中学生広島派遣事業、原爆パネル展、平和の折り鶴、核実験に対する抗議文送付、艦船寄港に係る核兵器搭載の有無の照会
施策の意図 (どのような状態に)	広く市民に戦争の悲惨さを認識してもらい、平和への意識の高揚を目指します。核兵器のない平和な世界の実現に努めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>これまで継続してきた中学生広島派遣事業や原爆パネル展など平和に対する啓発事業に取り組みました。さらに条例制定15周年事業として、小学生向けの非核平和条例のポスターを作成したほか、広島派遣の人数を3名→5名に増員するなど、平和に対する意識をより多くの人へ伝える活動に取り組みました。</p> <p>施策の性質上、数値で効果を測ることは難しいものの、参加者から平和の尊さについて改めて気づかされたという声が多数寄せられるなど、意識高揚には一定の成果があったものと考えます。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	運営方針	04	平和の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>平和推進事業や非核平和事業等の平和に関する啓発活動については、一時的な活動で効果を得られるものではなく、長期的に活動を継続することが重要だと捉えているため、これまで取り組んできたことを継続して行います。</p>				

施策評価表

施策番号 262110

政策目標	2 国際交流と国内交流の輪を広げます			
基本施策	1 国際交流と国内交流			
個別施策	1 国際交流の推進			
担当部・課	総合政策部	協働・男女平等参画室	評価者	室長 宮嶋 紀子

1 施策が必要な背景及び現況

姉妹都市のニュージーランド・ネーピア市と友好都市である中国・秦皇島市との交流が継続しています。これら二都市間においては、市民が主体となって交流を重ねることで「草の根交流」が定着してきていますが、今後は、友好交流の効果を更に市民に広めることが重要です。
また、「足元からの国際交流」をキーワードに、外国人住民や来訪した外国人との身近な交流を通じ市民の国際理解を推進していくほか、外国人住民への支援や情報提供を行っていく必要があります。

2 施策の目標

市民の国際理解の推進と国際交流事業への参加を通じ、誇りを持てる、誰にとっても住みよい「国際都市苫小牧」を目指します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民（外国人住民を含む。）
手段・方法 (どのような方法で)	市民や関係団体等と協力・連携し、姉妹・友好都市交流を進めます。 市民の各種国際交流事業への参加を促します。
施策の意図 (どのような状態に)	姉妹・友好都市交流で培った交流の成果を様々な分野に広げます。 国際交流事業を通じて、市民の国際理解を深めてまちの国際化を進めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>国際交流サロンの運営や各種イベントの開催、姉妹・友好都市交流等を継続的に実施したことで、市民の国際理解と異文化交流が図られたものと考えます。 国際交流事業への延べ参加人数は目標値を大きく上回り（目標値1,000人-結果約1,900人）、市民が異文化に触れる機会は増加しました。姉妹都市等との交流する機会に対する市民満足度は目標値に至らなかったものの（目標値10%-結果4%）、締結35周年記念事業やこども国際交流事業によるネーピア市への訪問、秦皇島市職員の短期受入事業などを通じ、市民が姉妹・友好都市の人々と交流することができました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	24	国際・国内交流の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、これまでの国際交流施策を継続することを基本とし、国籍や文化的背景に関わらず、市民一人ひとりが気軽に参加できる機会を提供することにより、暮らしやすく心の通ったまちづくりを進めていきます。 具体的には、姉妹・友好都市等、諸外国との交流や、これからの国際社会を担う存在である子どもたちが外国に触れることのできる機会を提供するほか、外国人住民に対する日本語学習の実施や日々の暮らしのサポートを行い、多文化共生と異文化理解を深め、まちの国際化を進めていきます。</p>				

施策評価表

施策番号 262120

政策目標	2 国際交流と国内交流の輪を広げます			
基本施策	1 国際交流と国内交流			
個別施策	2 国内交流の推進			
担当部・課	総合政策部 秘書広報課	評価者	課長 小西 智子	

1 施策が必要な背景及び現況

本市における国際・国内交流はともに、姉妹・有効都市交流を中心に展開しています。国内では、八王子市、日光市と姉妹都市の盟約を締結しており、全国でも珍しい三姉妹都市による交流を行っています。

2 施策の目標

多くの市民が人的交流を中心に、広範な分野で交流を深めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	広く一般市民、八王子市、日光市
手段・方法 (どのような方法で)	教育、文化、スポーツ、産業などを通じた交流
施策の意図 (どのような状態に)	姉妹都市との交流

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	理事者間の交流を契機に、青少年や経済交流など様々な交流につながっており、さらには姉妹都市である日光市との関係から茨城県大洗町と観光パートナーシップ協定を締結するなど、新たな交流の輪が広がりました。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	24	国際・国内交流の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	理事者レベルの交流を継続していくとともに、各分野における交流が広がるよう、市役所内部及び市民に対して姉妹都市情報を提供していきます。				